

検査優先種 1

1羽死んでいた場合に検査を行います。



撮影：(一財)自然環境研究センター

●ヒシクイ

徳島県への飛来状況：ごくまれに観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴は黒く先に橙味を帯び、先端は黒。

頭部から上面、胸、脇は暗褐色で、腹から
体下面、上尾筒、下尾筒は白。足はオレンジ。

〔対応レベル3〕



撮影：(一財)自然環境研究センター

●マガン

徳島県への飛来状況：まれに観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴はピンク。まれにオレンジ。嘴基部周辺
が白い。足はオレンジ。全身が黒褐色。下面
はやや淡い。腹に黒斑。



撮影：(一財)自然環境研究センター

●コブハクチョウ

徳島県への飛来状況：元は飼われていたものが野生化
ごくまれに観察される(外来種)。

徳島県への飛来時期：不詳

特徴：全身は白い。細長い頸。嘴はオレンジ。

基部には黒いこぶがある。足は黒い。



撮影：(一財)自然環境研究センター

●コハクチョウ

徳島県への飛来状況：まれに観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：全身は白い。オオハクチョウに比べて短め
の頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。オオ
ハクチョウよりも黄色の面積が狭い。足は
黒い。



撮影：(一財)自然環境研究センター

●オオハクチョウ

徳島県への飛来状況：まれに観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：全身は白い。細長い頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。コハクチョウよりも黄色の面積が広い。足は黒い。



撮影：(一財)自然環境研究センター

●オシドリ

徳島県への飛来状況：留鳥。主に冬鳥。

山地や河川の上流部で

普通に観察される。

徳島県への飛来時期：年中(10月から3月に多い)

特徴：嘴は紅色で先端は白。顔は白く、頸には栗色の筋状の羽。脇は黄褐色で、三列風切羽には特徴的な銀杏羽。



撮影：(一財)自然環境研究センター

●ヒドリガモ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：頭部は茶褐色で、額から頭頂がクリーム色。背面と脇は灰色で、黒い細斑がある。



撮影：(一財)自然環境研究センター

●キンクロハジロ

徳島県への飛来状況：冬鳥。飛来数は少ないが観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴は青灰色で先端は黒い。虹彩は黄色。頭は紫色光沢があり、後頭に房状の冠羽。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●カイツブリ

徳島県への飛来状況：留鳥。普通に観察される

徳島県への飛来時期：年中

特徴：太くて黒い嘴。基部は黄白色。尾は非常に短く体は丸い。全体は黒褐色で、頭から頸にかけて赤褐色。



撮影：環境省

●カンムリカイツブリ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴はピンク色。頭上は冠羽。頬に赤褐色と黒色の扇状に広がる飾り羽。(写真は夏羽)



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●マナヅル

徳島県への飛来状況：冬鳥。ごくまれに観察される

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：眼の周囲の皮膚が赤く露出している。頭頂から後頸にかけて白く、頸から胸、腹、下尾筒までと背は灰白色。足は淡紅色。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ナベヅル

徳島県への飛来状況：まれに観察される。

近年、増加傾向。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴は黄色みを帯びる。額が黒く、眼の上は赤色。頭部から頸は白く、その他の部分は灰黒色。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ユリカモメ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される

徳島県への飛来時期：11月から4月まで

特徴：細くて暗褐色の嘴。足は赤い。全身は淡い青灰色
夏羽の頭部は褐色味の黒。



撮影：環境省

●オオタカ

徳島県への飛来状況：留鳥。一部、冬鳥。

秋から冬にかけて観察される

徳島県への飛来時期：年中

特徴：嘴基部と足は黄色。虹彩はオレンジ色
または黄色。上面は暗青灰色、下面は白く
黒褐色の横斑がある。白色の眉斑が目立つ。



撮影：小林 靖英 撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ノスリ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

山地から海岸まで観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴は黒褐色で太い顎線がある。上面は褐色味が
強く下腹に褐色斑がある。

飛翔時、翼角の暗黒色斑が目立つ。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ハヤブサ

徳島県への飛来状況：留鳥。沿岸地域では普通に
観察される。

徳島県への飛来時期：年中

特徴：状面は暗青灰色。下面は白く、黒褐色の
横斑がある。

頬に目立つひげ状の黒斑がある。



撮影：小林 靖英

●オジロワシ

徳島県への飛来状況：ごくまれに観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：全体的に褐色味を帯び、体の下方になるほど
体色が濃い。尾は短く白色、嘴と足は淡黄色。

●徳島県では観察されない種類：シジュウカラガン、コクチョウ

検査優先種 2

1羽死んでいた場合に検査を行います。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●マガモ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴は黄色。足は濃いオレンジ色。頭は暗緑色。

頸に細い白の輪。胸は茶色。

〔対応レベル3〕



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●オナガガモ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴は黒く、両側は青灰色。頭部から後頸に

かけてチョコレート色。頸と胸は白い。尾羽は黒色で細長い。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●トモエガモ

徳島県への飛来状況：冬鳥。まれに観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：顔の様子が特徴的で、黄白色、緑、黒の三色の

巴形をしている。胸は赤紫褐色で脇は青灰色。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ホシハジロ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴は黒く、中ほどは鉛色。足は鉛色。頭

から頸は赤茶色。上・下面とも灰色で、細かい黒い波状の斑がある。胸と尻は黒。



●スズガモ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：オス成鳥の頭部は緑や紫の光沢色。

胸と上・下尾筒は黒い。背は白いが細かく
黒い波状斑がある。脇と腹は白色。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●オオワシ

徳島県への飛来状況：ごくまれに観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：体は全体的に黒褐色だが、額、翼前縁、
腰、尾、上・下尾筒が白色。嘴は大きく、
橙黄色。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●クマタカ

徳島県への飛来状況：留鳥。まれに観察される

徳島県への飛来時期：年中

特徴：後頭に冠羽がある。胸は白く、黒褐色の
縦斑がある。飛翔時に翼の幅が広く見える。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●フクロウ

徳島県への飛来状況：留鳥。まれに観察される。

徳島県への飛来時期：年中

特徴：頭部から背は灰褐色で、褐色の縦斑が密に
ある。胸から体下面は淡灰褐色で褐色の縦斑
がある。顔にはハート型の縁取りがある。
羽角はない。

検査優先種 3

〔対応レベル 3〕

見渡せる範囲で3羽以上死んでいた場合に検査を行います。



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●カルガモ

徳島県への飛来状況：留鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：年中



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●カワウ

徳島県への飛来状況：留鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：年中



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●コガモ（オス）

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●コガモ（メス）

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●アオサギ

徳島県への飛来状況：留鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：年中



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●ウミネコ

徳島県への飛来状況：留鳥。

沿岸部では普通に観察される。

徳島県への飛来時期：年中



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●セグロカモメ

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●ミサゴ

徳島県への飛来状況：留鳥。

観察数は少ないが、普通に観察される。

徳島県への飛来時期：年中



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●トビ

徳島県への飛来状況：留鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：年中



撮影：日本野鳥の会徳島県支部

●チョウゲンボウ

徳島県への飛来状況：冬鳥。観察数は少ない。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで



撮影：（一財）自然環境研究センター

●オオバン

徳島県への飛来状況：冬鳥。普通に観察される。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

特徴：嘴と額は白い。全身黒色。

●ハジロカイツブリ

徳島県への飛来状況：冬鳥。

数は少ないが普通に見られる。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

●タンチョウ

徳島県への飛来状況：非常にまれに観察される。

徳島県への飛来時期：冬季

●コミミズク

徳島県への飛来状況：冬鳥。観察数は少ない。

徳島県への飛来時期：10月から3月まで

●クロツラヘラサギ

徳島県への飛来状況：絶滅危惧種であり、飛来数は10羽以下である。

徳島県への飛来時期：冬期

●コウノトリ

徳島県への飛来状況：鳴門市など、一部地域にて飛来、産卵が行われている。

徳島県への飛来時期：留鳥のため、1年中確認

●ハシボソカラス、ハシブトカラス

徳島県への飛来状況：市街地など、多くの場所で見られる

徳島県への飛来時期：1年中